

予算決算委員会会議記録

1. 日 時	令和元年10月29日(火) 9時50分開会 令和元年10月29日(火) 11時55分閉会
2. 場 所	全員協議会室
3. 出席議員	足立義則委員長、向井千尋副委員長、 小島政行、隅田雅春、渡辺拓道、大西基雄、河南芳治、安井博幸、恒田正美、栗山泰三、大上和則、田村直也、吉田知代、前田えり子、河南克典、園田依子、森本富夫
4. 協議事項	<p>認定第 1号 平成30年度篠山市一般会計歳入歳出決算認定について</p> <p>認定第 2号 平成30年度篠山市住宅資金特別会計歳入歳出決算認定について</p> <p>認定第 3号 平成30年度篠山市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について</p> <p>認定第 4号 平成30年度篠山市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について</p> <p>認定第 5号 平成30年度篠山市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について</p> <p>認定第 6号 平成30年度篠山市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について</p> <p>認定第 7号 平成30年度篠山市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について</p> <p>認定第 8号 平成30年度篠山市農業共済事業会計決算認定について</p> <p>認定第 9号 平成30年度篠山市水道事業会計決算認定について</p>
5. 議事の経過	<p>9:50 開会</p> <p>足立委員長 開議宣告</p> <p><b>総務文教分科会座長報告</b></p> <p>■認定第 1号 平成30年度篠山市一般会計歳入歳出決算認定について 隅田座長より報告(別添資料参照)後、質疑応答。 一質疑なし一</p>

## 民生福祉分科会座長報告

■認定第 1号 平成30年度篠山市一般会計歳入歳出決算認定について

■認定第 2号 平成30年度篠山市住宅資金特別会計歳入歳出決算認定について

■認定第 5号 平成30年度篠山市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について

■認定第 6号 平成30年度篠山市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について

■認定第 7号 平成30年度篠山市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について

大西座長より報告後、質疑応答。

### <主な質疑応答等>

田村委員 人権政策啓発事業に関し、住民学習参加者の男女比について、女性の参加率が低い理由及び世帯主の参加が主となっている要因について、質疑はあったのか。

大西座長 そうした質疑はなかった。

田村委員 女性の社会参画推進が図られているが、いまだに性別による役割分担の意識が根強くあり、現実のものとはなっていないと考えている。こうした中、住民学習の女性の参加を進めていくことによって、意識が変わり、女性の社会参画の進展に寄与すると考えることから、所管の委員会として注視いただきたい。

安井委員 戸籍住民基本台帳費に関し、マイナンバーの交付枚数及び交付率について、数値の推移について、質疑はあったのか。

大西座長 そうした推移についての質疑はなかった。

安井委員 マイナンバーカードの交付枚数を増やす取り組みについて、マイナンバーカードを取得することの利便性の向上などをPRしながら交付率を高めていきたいとのことであるが、具体的な提案はなかったのか。

大西座長 国の取り組みとして、地方公務員等については、家族も取得するように奨励されており、本市においても、家族の方を含め申請するよう進め、前向きに取り組んでいる。今後の展開としては、様々な法律改正があり、保険証機能や金融機能をマイナンバーカードに付与する試みも進んでいることも含め、広くPRすることによって取得が進むように取り組みたい旨の答弁があった。

栗山委員 塵芥処理費に関し、丹波市分担金の1億1,800万円について、令和

8年4月以降はなくなるとのことであるが、その理由について、質疑はなかったのか。

大西座長 令和8年の4月以降は山南町のごみは受け入れない内容の覚書が両市間で交わされており、分担金についてもその時点での精算になるとの答弁であった。

#### 産業建設分科会座長報告

■認定第 1号 平成30年度篠山市一般会計歳入歳出決算認定について

■認定第 3号 平成30年度篠山市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について

■認定第 4号 平成30年度篠山市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について

■認定第 8号 平成30年度篠山市農業共済事業会計決算認定について

■認定第 9号 平成30年度篠山市水道事業会計決算認定について

大上座長より報告（別添資料参照）後、質疑応答。

＜主な質疑応答等＞

隅田委員 下水道汚泥共同処理事業に関し、あさぎり乾肥についてどのような議論があったのか。又、東雲高校の竹チップを混入して臭気対策を行っているが、その臭気対策の科学的な数値の効果は示されたのか。又約30トンの汚泥の減量化が出来ていると思うが、さらに減量化するといったような説明はあったのか。

大上座長 あさぎり乾肥については、2,507袋配布し、約30.1トンの排出汚泥の減量化に努めたと聞いている。配布量については、地元との協議において、月に作成する袋数を、200～250袋とし、年約2,600袋の作成としている旨の回答があった。又、東雲高校の研究成果である竹チップを10%混ぜ込み、乾肥の臭気対策としており、臭気軽減に努めているとの回答はあったが、科学的な数値に基づく説明等はなかった。

安井委員 住宅一般事務費に関し、危険ブロック塀撤去支援事業において、現状で通学路の危険ブロックは何パーセント撤去できているのか。又あとどのぐらい撤去できていないのかという議論はあったのか。

大上委員 撤去率についての議論はなかったが、危険ブロック塀の撤去に向けた補助事業については、自治会長会、PTA総会等でPRを行っているとの回答があった。審査後であるが当局から、通学路のブロック塀

	の有無については、平成30年度に教育委員会にて調査されていると聞いており、通学路の変更等も含め、学校等への注意喚起をされていると報告があった。
安井委員	P T A等から出た要望については、全て対応しているという認識でいいのか。
大上座長	そのように認識している。
河南芳治員	地籍調査準備事業に関し、今後の計画、地域選定方法の説明、議論があったのか。
大上座長	今回の調査対象のA地区は、森林作業について大山地区で取り組みがあり、意識が高いということで選定した。そういった点から考えると、大山地区はかなり森林作業に意識の高い校区でもあり、かつA地区に今回取り組んでいるので、効果を上げていくという観点で考えると、高倉地区の隣接の自治会、もしくは大山校区等を今後進めていくという考えもある。しかし、他の地区でも事業実施の要望をもらっていることもあり、状況を踏まえながら、今後進めていきたいと考えているとの回答があった。
河南芳治委員	市として広域的な計画は立てていないという理解でいいのか。
大上座長	状況を踏まえながら今後検討していきたいとの回答であった。
田村委員	観光宣伝事業に関し、他市との連携で広域的な集客を図るということであるが、市単独での集客事業に関しての議論はあったのか。
大上座長	そういった議論はなかった。
恒田委員	農業委員会関係費に関し、遊休農地の発生防止の取り組みであるが、市は国の考え方とは異なる方向で推進しているのか。
大上座長	農業委員会としての取り組みについては、農地パトロールで発見した遊休農地について、地域委員会ごとに自治会長等の会議に出席し、状況を報告し解消への協力を依頼しており、農地を農地として守れるように推進しているとの回答であった。
栗山委員	河川総務費に関して、河床部分についての除草作業の説明で、法面だけの指導だと思うが、集落によっては河床部分も作業していると思われる。河床部分も作業している場合、作業面積が増加することに対して積算すべきであると考えているが、そういった議論はあったのか。
大上座長	そういった議論はなかったが、河川等環境整備事業については、作業範囲は地域で決め実施されており、作業範囲に河床の部分があれば積算されて補助されていると認識している。
安井委員	景観形成事業に関し、屋外広告物は許可が2年間となっている。景

観条例の変更により、作成当初と要件が変わった場合、更新は認められないのか。又、そういった議論はあったのか。

大上座長 不適合な場合は、2年毎の更新の際に基準に適合する広告物に変更するように指導しているとの回答があった。

#### ■議員間討議

足立委員長 討論、表決に入る前に、全体を通して何か意見はないか。疑義がある場合、市長等に確認しておきたい事項があればあげていただきたい。

— 意見なし —

足立委員長 ないようなので、今回は市長等への確認質問はなしとする。  
休憩（11：25～11：40）

#### ■表決

認定第 1号 平成30年度篠山市一般会計歳入歳出決算認定について  
認定第 5号 平成30年度篠山市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について  
認定第 6号 平成30年度篠山市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について  
認定第 7号 平成30年度篠山市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について

— 討論なし・賛成多数で可決 —

認定第 2号 平成30年度篠山市住宅資金特別会計歳入歳出決算認定について  
認定第 3号 平成30年度篠山市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について  
認定第 4号 平成30年度篠山市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について  
認定第 8号 平成30年度篠山市農業共済事業会計決算認定について  
認定第 9号 平成30年度篠山市水道事業会計決算認定について

— 討論なし・全員賛成で可決 —

足立委員長 以上で、当委員会に付託された案件はすべて議了した。なお、委員会の審査報告については、委員長に一任願いたい。

— 異議なし —

